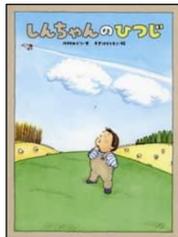
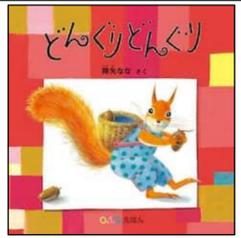
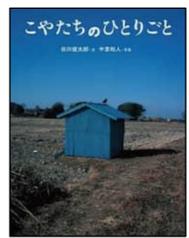
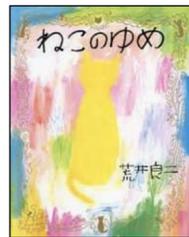


2023年度(令和5年度)

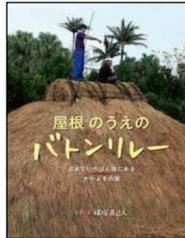
## 冬休みにおすすめする本

選定 北海道学校図書館協会

選定協力 札幌市学校図書館協議会

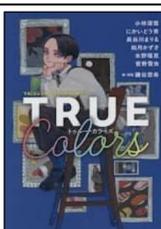
	表紙画像	書名 著者名他 ISBNコード	出版社 出版年(月) 税込価格	※選定コメント もしくは出版社による紹介など
<b>幼児</b>				
1		<b>うかぶかな? しずむかな?</b> 川村 康文/文 遠藤 宏/写真 978-4-265-83152-4	岩崎書店 2023.8 1,540円	水の中にボールやおもちゃを入れたり沈めたり。どれが浮かぶかな?沈むかな?目に見えない浮力が幼児に伝わる科学絵本。 なぜ、浮かぶの?どうして、沈むの?「くすっ」とおもしろく伝える科学絵本。水の中にボールを入れたりミニカーを入れたり野菜を入れたり…。どれ浮かぶ?どれ沈む?どンドン実験してみよう。ラストにくすっ!目に見えない浮力が幼児に伝わる絵本。
2		<b>しんちゃんのはつじ</b> 川村 みどり/文 すぎはら ともこ/絵 978-4-19-865683-6	徳間書店 2023.8 1,650円	しんちゃんが眠れない時、「羊を数えるといいよ。」とお母さん。羊が分からないしんちゃんが想像した羊は、とてもユニーク! 今夜は、お父さんが出張で帰ってきません。風が強くて、しんちゃんは、怖くて眠れませんでした。お母さんは、「羊の数を数えると眠れるのよ」と教えてくれました。でも、しんちゃんは、羊が何か知りません。「羊って、何?」「羊は、毛の長い動物よ。毛でセーターを作るの」それってどんな動物?しんちゃんが考えた、毛が長くて、毛でセーターを作る「ヒツジ」は、どんな姿をしているのでしょうか?子どもの想像力の広がりやユーモアたっぷりに描いた絵本です。
3		<b>どんぐりどんぐり</b> 降矢 なな/作 978-4-8340-8735-2	福音館書店 2023.10 990円	母さんリスが、どんぐりひろいに出かける。ひとつ、ふたつとページをめくるたびに1つずつ拾っていくが…。一緒に数えたり、探したりしたくなる絵本。 森の中、母さんリスがどんぐり拾いに出かけます。落ち葉の中から「みつけたひとつ」、木の根元から「みつけたふたつ」と、どんぐりをひとつずつかごに入れていきます。ところが、母さんリスは木の根につまずいて、せっかく拾ったどんぐりを全部落としてしまいました。でもまた、ひとつずつ拾って、子どもたちが待つ家に帰ります。場面ごとに変わる森の風景も美しい、秋にぴったりの絵本です。
4		<b>きりんのこがせのびをしています</b> 林 木林/作 山口 マオ/絵 978-4-323-03238-2	金の星社 2023.9 1,595円	背が高くなりたいと願うキリンの子が縦開きの本のページをめくるたびに、首をまっすぐぴーんと伸ばす。やわらかい雰囲気のある絵本で描かれている。 母さんみたいに背が高くなりたいと、きりんの子が背伸びをしています。きりんの子の優しい夢を、味わい深い版画で描きます。 もしも、私がきりんだったとしましょう。すると、私はずっと遠くの景色まで見渡すことができるわけです。ですけど、ずっと遠くの景色を見ているうちに、その先の見えない景色が気になってきて、もっと遠くが見てみたいと思うだろうと思うのです。できるかぎりの背伸びをして、首をぴーんと長く伸ばして、どうにかして、もっと遠くを見ようとするだろうなと思うのです。
5		<b>おしえて!あむあむさん</b> 間部 香代/作 浅野 みどり/絵 978-4-418-23846-0	世界文化社 2023.10 1,540円	羊のあむあむさんは森の中の編み物屋さん。小さくなったくまさんのセーターは、ほどかれ、それぞれ耳袋、しっぽ袋、角袋、羽袋にうまれかわる。心もほっこりする絵本。 編み物が得意な森の編み物屋さん、あむあむさん(ひつじ)のもとへ、くまさんが小さくなって着られなくなったセーターを持ってやってきます。あむあむさんはくまさんのセーターをほどいて編みなおし、森の仲間たちの耳袋やしっぽ袋、つう袋、はね袋に変身させます。みんなは大喜び。ある日くまさんが風邪をひいて寝込んでしまうと、仲間たちはあむあむさんに頼んで自分たちの“袋”をほどき、くまくんのために大きな毛布を作ってもらいます。
<b>小学校・低学年</b>				
1		<b>こやたちのひとりごと</b> 谷川 俊太郎/文 中里 和人/写真 978-4-7520-1067-8	アリス館 2023.6 1,760円	田畑や海岸にひっそりと建っている様々な小屋たちが語り出すひとり言は、佇まいも相まってどこかユーモアで味わい深い。個性豊かな小屋がすてきな写真絵本。2007.10 ビリケン出版刊。 ここにいるよ いつだってここにいるよ。きみにはどんなひとりごとが聞こえてくるかな…。山里や海岸にひっそりとたっている小屋たちが、一人一人語り出します。「からっぽじゃないよ」「ぼくを建てた人は 偉くない 偉くないから 好きなんだ」など、ユーモアのある言葉で、ものを見るのが楽しくなる絵本。
2		<b>ねこのゆめ</b> 荒井 良二/著 978-4-14-036145-0	NHK出版 2023.6 1,760円	ねこはいつも夢みてる。「そのむこうにはなにがある?」心が軽くなる。希望がわく本。 ねこたちのまっすぐな夢と愛がいっぱい!家にいるねこも、街にいるねこも、みんな夢見てる。行ってみたい場所、待っている会いたい誰かを求めて。温かい何かや誰かの夢を見て、今日も、ふみふみふみふみ。 想像する楽しさと身近なぬくもりにふれる、荒井良二初めての「ねこ」の絵本。
3		<b>トットちゃんの15つぶのだいず</b> 黒柳 徹子/原案 柏葉 幸子/文 松本 春野/絵 978-4-06-531964-2	講談社 2023.7 1,760円	安心で喜びや楽しさにあふれた毎日から、色々なものが失われ、ついに1日の食べ物が大豆15粒だけ。トットちゃんを目線で描かれた戦争絵本。 トットちゃんの小学校時代は、日本が戦争をはじめた時代でもありました。大好きなパパ。トモエ学園の楽しいお弁当の時間。甘い、甘いキャラメル。<家族そろって、安心で、うれしかった毎日>から、色々なものがなくなっていく。そして、ある日、とうとう一日の食べ物、炒った大豆15つぶだけになってしまいました。トットちゃんは、15つぶをいつ食べるか、悩みに悩んで……。トットちゃんの等身大の戦争体験。
4		<b>ちょっとだけのんびりするひ</b> ウェンディ・メドゥール/文 ダニエル・イグナス/絵 やまもと みき/訳 978-4-7598-2305-9	化学同人 2023.7 2,200円	家でも学校でも急がれてばかりのティシャは、つらくなり、ママにうちあける。ちょっとだけのんびり過ごしてみると、何だか世界がすてきに増えてきて…。 ティシャの一日は、あわただしく始まります。朝はバスにかけこみ、学校の休み時間でさえ、ゆっくりするひがありません。そこで、お迎えにきたママにティシャは言いました。ちょっとだけのんびりしたいな。

5		<b>ゆうやけにとけていく</b> ザ・キャビンカンパニー/作 978-4-09-725229-0	小学館 2023.7 1,870円	少しずつ沈んでいく太陽を背景に、様々な人たちの、いろいろな感情が描かれ、夕焼けにゆっくりと確実にとけて、静かな夜を迎える。  夕焼けは喜びも悲しみも包み込む。だんだんと沈みゆく太陽を背景に、ジャングルジムで遊ぶ男の子、悔しくて石を蹴る女の子、買い物帰りの親子などが描き出されます。それぞれのシーンのいろいろな感情を、夕焼けがやさしく包み込み、誰にでも静かな夜がやってきます。ゆっくりおやすみ。
6		<b>ぼくのじゃがいも</b> ジョン・レイシー/作 モモコ・アベ/絵 みやさか ひろみ/訳 978-4-7721-0265-0	こぐま社 2023.9 1,650円	「ペットがどうしてもほしい。」アルバートが毎日言い続けた結果、パパがプレゼントしてくれたのはなんと「じゃがいも」。意外性に満ちたストーリー、生命力、多様性が魅力の絵本。  ペットがほしくてたまらないアルバートに、ある日パパがプレゼントをくれました。包みをあけてみると、出てきたのはなんと、じゃがいも！「ペットのおじゃがくんだ」と、パパは言いますが…。
7		<b>ねこのオーランドーの動物園</b> キャスリーン・ヘイル/作 こみや ゆう/訳 978-4-7690-2281-7	好学社 2023.8 1,870円	ジャングル暮らしに疲れたトラのリリィおばさんから手紙が来て、ちょっとした行き違いでジャングル中の動物たちがやって来ることに。奇想天外なストーリーが楽しい絵本。ねこのオーランドーシリーズ6冊目。  ジャングル暮らしに疲れた、トラのリリィおばさんから、しばらく泊めてほしいと手紙がきました。しゅしゅ返事をしましたが、ちょっとした行き違いで、世界中からいろいろな動物たちがオーランドーの元へ来てしまうことに…。そこでオーランドーは、近くの動物園の動物たちとの総とりかえ作戦を実行します！！
8		<b>どうぞめしあがれ！</b> 佐野・ブーゼリダ・マリア/原案 松田 奈那子/文・絵 978-4-593-10399-7	ほるぷ出版 2023.8 1,760円	モロッコで暮らすマリアの家族のもとに友だちのアミンが伝統料理のパステラを持ってきてくれた。おすそわけをテーマに異文化交流を描いた絵本。  「はいどうぞ、おすそわけ！」「わーい！シュラン！」「ピサハウラハ！」おいしいもの、うれしいこと、たのしい時間みんなでわけあうのは、モロッコではあたりまえ。色彩ゆたかなモロッコのまちを舞台に人々の交流を描きます。
9		<b>あおをはっけんしたちいさなヤン</b> みならいえかきのおはなし ジャン・リュック・アングルパール/作 はしづめ ちよこ/訳 978-4-909809-50-6	イマジネーション・プラス 2023.9 1,870円	ヤンは、有名な画家のアトリエで見習いとして働く小さな少年。将来、立派な絵描きになりたいという夢をもっています。アトリエの1日の仕事が終わったあともひとり残って、画家の先生や年上の見習いたちの技術や仕事を覚える努力をしていました。そんなある日、アトリエに伯爵夫妻が訪れて、絵の注文をします。伯爵夫人のドレスを「最も美しい青色」で描いてほしいと。中世と思われる当時、青色は大変貴重な顔料で簡単には手に入らなかったため、画家の先生は頭を抱えてしまいました。 現在「プルシアンブルー」と呼ばれている青色の発見の史実と、それが生まれる化学反応、少年の成長という様々なテーマが作品に織り込まれています。
10		<b>いえ あるひせんそうがはじまった</b> カテリナ・ティホゾーラ/作 オレクサンドル・プロードン/絵 すぎもと えみ/訳 978-4-8113-3086-0	汐文社 2023.9 1,870円	幸せな3人家族の家が戦争でなくなって、となりの国まで逃げていけれど「記憶の中の家は君を守るよ」という父親の言葉が希望を灯す。  ぼくはこのすてきな家に、パパとママと犬のテレシクとすんでいた。ある日、戦争が始まった… 2022年2月、ロシアがウクライナ侵攻を開始。「いえ」を奪われた大勢のうちのひとり、ある少年の物語。
<b>小学校・中学年</b>				
1		<b>サンタクロースがうまれた日</b> アラン・スノウ/作 石井 睦美/訳 978-4-09-725191-0	小学館 2022.11 1,980円	サンタクロースは、どうやって一晩のうちに、プレゼントを配っているのか。その秘密をのぞいてみよう。  サンタクロースは、どうやって一晩のうちに、世界中の子どもたちへプレゼントを配っているのかな？サンタクロースの秘密を、そっと、のぞいてみましょう。サンタクロースの起源を描くうつくしい絵本。
2		<b>聴導犬ふく 家族ができた！</b> 鈴木 びんこ/作 978-4-406-06688-4	新日本出版社 2023.1 1,760円	聴導犬 ふくは、どんなふうに住んで、どんな毎日を送っているのか。耳の不自由な家族をサポートする ふくの生活を伝える物語。  聴導犬の認定試験に合格したふく。パートナーになったみかさんは四大家族。全員耳が聞こえません。目覚まし時計が鳴ると、みかさんを起こすことから、ふくの一日が始まります。みかさん一家は、聴覚障害者のためのいろいろな機器を利用して、自立して生活しています。聴導犬の仕事と日常をわかりやすく楽しく伝える絵本。
3		<b>やなせたかしの新アラビアンナイト 1 魔神島の秘密</b> やなせ たかし/著 978-4-909532-94-7	クレヴィス 2023.3 1,485円	世界的古典「アラビアンナイト」が、やなせたかしの新解釈によって、子どもたちの心を照らす新たなストーリーに生まれ変わった！ 12章の冒険物語。  少年ハッサンは、魔法使いのハーラムにだまされて、海に浮かぶ7つの島、魔神島にやってきます。そこで不思議な美少女アネモネ姫に出会いますが、次々に怪事件にまきこまれていきます。巨人を呼び出す魔法のたいこ、空飛ぶジュータン、姿をかす秘密の帽子、謎の剣士との出会いなど、12章の冒険物語。
4		<b>わたしはふね</b> 古代ギリシャ時代からの問い 曹 文軒/文 石川 えりこ/絵 978-4-09-725214-6	小学館 2023.5 1,760円	古代ギリシャ時代からの問い。わたしは「にちげつまる」という船。船長が「波をけつて進むため」次々と船の部品を替えていく。すべての部品を替えられてしまった船と古い部品でできた船。どちらの船が私かわかりますか？  どちら船が私かわかりますか？ わたしは、にちげつまるという船です。大きくて美しく波をけつて進むすばらしい船です。昼も夜も広い海を走り続けています。ある日、船長が、「追い風に乗って波をけつて進むために」舵を取り替えると言いました。それからも船長は、美しい船の部品を次々と取り替えてしまいます。すべて部品を取り替えられてしまった船は、どうなったのでしょうか？

5		<b>黒部の谷の小さな山小屋</b> 星野 秀樹/写真・文 978-4-7520-1062-3	アリス館 2023.5 1,760円	黒部の谷の山小屋は、毎年建ててはこわす山小屋だ。登山者の感動の手伝いをするためと山小屋の主人は語る。  険しい道の先にあるのは一毎年、建ててはこわす、ふしぎな山小屋。山小屋の主人は「感動するお客さんの手伝いをするのが仕事。自分達にできることをやらなくちゃ」と語る。全てが雪崩に流されてしまうので、毎年、建てては壊す小屋。直さなければ通れない険しい道。それでも続けていくわけは？日本に残る大自然の脅威と、圧倒的な美しさ、その中で生きることの大変さ。仕事をするこの本質や、だれかと「ありがとう」という言葉を交わすことの喜びなど、人としての本質も問いかけてくる作品です。
6		<b>AIマスクはいかがですか？</b> 赤羽 じゅんこ/作 たんじ あきこ/絵 978-4-577-05191-7	フレーベル館 2023.6 1,430円	「悩めるあなたをこのマスクが助けます」不思議なピエロが売るAIつきのマスクを手に入れた4人の小学生のお話。  悩めるあなたをこのマスクがお助けします！ふしぎなピエロが売るのは、AIつきのハイテクマスク？4人の悩める小学生が、このマスクを使ったら…。
7		<b>どんないちごも、みんなかわいい</b> 葦原 かも/作 中田 いくみ/絵 978-4-494-02080-5	童心社 2023.6 1,320円	「イチゴは、みんな違う形だから、みんな可愛い、だからみんな美味しい」人間も同じはず。小3の女の子の主人公の心情を描く物語。  イチゴはみんな違う形。だから、みんなかわいい。だから、みんなおいしい—ゲーテ(?)人間も、ひとりひとりみんな違うよね…わたしは、わたしのままでいい！
8		<b>ねこぜ山どうぶつ園</b> 角野 栄子/作 よしむら めぐ/絵 978-4-323-07527-3	金の星社 2023.7 1,430円	リリーさんは、「ねこぜ山どうぶつ園」の若い園長さん。「おもしろくて、楽しいどうぶつ園」を目指して、カバやカメたちの微笑ましいお話。  カバのオンリちゃんに、文句を言ってきたのは？カメのメカじいさんに赤ちゃんができた？リリー園長の夢に出てきたものは！？ちょっとふしぎな動物園のお話。
9		<b>屋根のうえのバトンリレー</b> 日本ていちばん南にあるかやぶきの家 横塚 眞己人/写真・文 978-4-593-10308-9	ほるぷ出版 2022.10 1,760円	沖縄県西表島の小さなシュウラクで大切に守られている、かやぶき屋根の家…10年に一度の改修で次の世代に伝えるバトンリレーがあたたかい。  沖縄県の西表島に、日本最南端のかやぶき屋根の家があります。今は誰も住んでいないけれど、その家には、とても重要な役割があります。それは、先代から受け継いできた文化を、次の世代に伝える場となっていること。このかやぶき屋根の上で、知恵や技術、ゆいまるの精神が受け継がれているのです。南の島の小さな集落で、大切に守られ、有形文化財に指定されている古民家をていねいに取材した写真絵本。
10		<b>海にしずんだクジラ</b> メリッサ・スチュワート/文 ロブ・ダンラヴィ/絵 千葉 茂樹/訳 藤原 義弘/日本語版監修 978-4-7764-1103-1	BL出版 2023.8 1,980円	「海にしずんだクジラ」は、50年間もさまざまな命を支えてくれる素晴らしい贈り物になる。最近になって少しずつ明らかになってきたことを知る絵本。  死んだクジラはどうなるの？海底で育まれる驚きの世界。地球上で一番大きな動物クジラは、死ぬと真っ暗な海の底に沈み、何十年もかかって朽果ててゆく。その間、実に様々な深海生物が死骸に集まって来る。肉を食べるもの、骨を食べるもの、それらの生き物をねらうもの…。この特殊な生態系は「鯨骨生物群集」と呼ばれ、沈んだ場所等で集まって来る生物も違い、まだまだわからないことも多い。終わりをむかえた命が50年間、豊かな生態系を支えるようすを描いたノンフィクション。
<b>小学校・高学年</b>				
1		<b>かげふみ</b> 朽木 祥/作 網中 いづる/挿画 978-4-8138-0423-9	光村教育図書 2023.5 1,760円	東京から広島のおばあちゃんの家へ一人でやって来た巧海。ある日、訪れた図書室で、みつあみの女の子を見かける。しかし、着ているものなど何か様子がおかしい。一人の少女を通して、1945年のあの夏、何が起きたのかを知っていく。  1945年8月6日のあの朝と現在とをつなぐ、一人の少女と「ぼく」の物語。国語教科書(小5、光村図書)に掲載の「たずねびと」収録。
2		<b>ぼくはうそをついた</b> 西村 すぐり/作 中島 花野/絵 978-4-591-17821-8	ポプラ社 2023.6 1,650円	同居するおじいちゃんに戦争で亡くなった兄がいることを聞いたリョウタ。それがきっかけとなりヒロシマの町を歩き、当時の人の想いを感じ取っていく。そんなある日、「へろっばあ」というおばあさんと出会って…。  同居する祖父から、原爆で亡くなったおじいちゃんの話聞いたリョウタ。祖父の話きっかけに、あらためて自分の住むヒロシマの街を歩き、今も消えない原爆の傷と人々の想いについて考えはじめる。いっぽうレイは原爆で息子を亡くしている曾祖母を救いたかった。男の子に思われたいと、どんどん髪を短くしていきが…。すべての人が幸せに生きられる世界へ、祈りをこめた物語。
3		<b>アゲイン</b> あんず ゆき/作 丹下 京子/絵 978-4-577-05187-0	フレーベル館 2023.7 1,540円	となりの席になったことがきっかけで話すようになった同級生と、ある日外でばったりと出会った。そのまま連れていかれたのは「子ども食堂」だった。友達のこと、家族のこと、うまくいかないことが増えた毎日がここでの出会いで変わっていく。  友だちとの関係、父親のカレー店…何もかもうまくいかずへこんでいたアオイは、「フードバンクAGAIN」の看板の前で同級生のカンナを見かけた。そこは、子どもならタダで食べられる「子ども食堂」だった。
4		<b>アンナは犬のおばあちゃん</b> 吉田 桃子/著 978-4-06-531140-0	講談社 2023.6 1,540円	2年生の頃からずっと欲しかったロングコートチワワ。6年生になり、やっと犬が飼えると思ったら、チワワでもないオオカミみたいなおばあちゃん犬だった。心の葛藤と目の前の命とを見つめ、犬と女の子の物語。  幼い頃から、かわいいロングコートチワワを飼うのが夢だったちひろ。今日、うちにチワワがやってくる！ところが、家に帰るとケージの中に入っていたのは、チワワとは全然違う、オオカミみたいなおばあちゃん犬だった。大きな勇気をくれる物語。

5		<b>給食が教えてくれたこと</b> 「最高の献立」を作る、ぼくは学校栄養士 松丸 奨/著 978-4-7743-3449-3	くもん出版 2023.7 1,540円	「最高においしい」給食を目指して挑戦を続ける栄養士の熱血お仕事 ノンフィクション！（帯より） 人は、毎日食べるものでできている。食べることで、人生は変わる。「最高においしい」給食を目指して挑戦を続ける栄養士の熱血お仕事ノンフィクション！
6		<b>夜光貝のひかり</b> 遠藤 由美子/作 978-4-580-82583-3	文研出版 2023.6 1,540円	サッカーの代表に選ばれず、ふてくされた生活を送っていた少年彼方(かなた)。夏休みのある日、奄美大島でセーラー服を着た幽霊と出会う。その幽霊は、何者なのか、ひと夏の少年の物語。 また逢いましょう、来年のいまごろに。時は、水車のようにめぐって。また逢えることを、願っています…。
7		<b>図書館がくれた宝物</b> ケイト・アルバス/作 柳田 理絵/訳 978-4-19-865665-2	徳間書店 2023.7 2,090円	1940年、ロンドン。12歳のウィリアム、11歳のエドモンド、9歳のアンナの兄弟は、学童疎開に参加する。身よりを亡くした兄弟は、自分達の「家族」を見つけたいという思いを持っていたが…。 1940年、第二次世界大戦下のロンドン。12歳のウィリアム、11歳のエドモンド、9歳のアンナの兄弟は、親がわりだったおばあちゃんが亡くなり、家族は3人きりになってしまった。3人に必要なのは、保護者となる「後見人」。後見人がいなければ、遺産に手をつけることもできない。そこでおばあちゃんの弁護士が提案したのは、3人で学童疎開に参加すること。ロンドンにいるより安全だし、ひよっとしたら、3人をずっと家に置いてくれる家族が見つかるかもしれない…。疎開先の厳しい日々、3人とって、村の図書館だけが救いだった一。
8		<b>人間になりたかった犬</b> 今西 乃子/作 福田 岩緒/絵 978-4-406-06763-8	新日本出版社 2023.8 1,650円	「人間を救った犬」は人間になることができる。神社のシロは100年以上も人間になることができずにいた。人と犬の心あたたまるファンタジー。 「犬童神社」の宮司・犬養尊が人間に生まれ変わったのは50年前。白い犬ならどんな犬でも人間に生まれ変わるわけではなく、「人間を救った犬」でなければ、生まれ変わらない。神社で飼われている犬・シロが、ため息をつきながら、尊に聞いた。「お師匠さんは一体、人間のためにどんないいことをしてやったんです？」
9		<b>アンナの戦争</b> キンダートランスポートの少女の物語 ヘレン・ピーターズ/作 尾崎 愛子/訳 978-4-03-726800-8	偕成社 2023.9 1,870円	第二次世界大戦のことを学ぶために、6年生のダニエルはアンナおばさんに話を聞くことにした。ドイツに住んでいたアンナは、ナチスによるユダヤ人迫害をのがれるためにキンダートランスポート(子どもの輸送)でイギリスにわたった子どもの1人だった。 ぼくは第二次世界大戦のころの話を聞きに、アンナおばあちゃんを訪ねたドイツに住んでいた少女アンナは、ナチによるユダヤ人迫害をのがれるため、キンダートランスポート(子どもの輸送)という救援活動によってイギリスに渡った。受け入れてくれたのは、ケント州の田園地帯に住むディーンさん一家だ。ある日、アンナと二人の子どもたちは、納屋で兵士を見つけた。その兵士がドイツ語をつぶやくのを聞き、三人で見はることにするが…。
10		<b>波あとが白く輝いている</b> 蒼沼 洋人/著 978-4-06-532577-3	講談社 2023.8 1,650円	三船七海は小学6年生。1歳の時、東日本大震災で母と祖母を亡くし、ほとんど母の記憶のない七海は、母の同級生から、母が熱心に取り組んでいた海光祭の話を聞く。震災後、途絶えた海光祭を復活させようとする七海の挑戦がはじまる。 三船七海は海光小学校の6年生。1歳のとき、東日本大震災で母と祖母を亡くし、祖父と母の妹・汐里さんと暮らしている。ほとんど母の記憶のない七海だったが、母の同級生から、母が熱心に取り組んでいた海光祭のことを聞く。それは地域の人たちの協力を得ながら作り上げる海光小学校の大イベントだったが、震災後は途絶え、開催されていなかった一。震災から10年が経ち、新型コロナウイルスの感染が拡大するなか、七海の新しい挑戦がはじまる！

2023年度(令和5年度)			
冬休みにおすすめする本			
選定 北海道学校図書館協会			
選定協力 札幌市学校図書館協議会			
表紙画像	書名 著者名他 ISBNコード	出版社 出版年(月) 税込価格	※選定コメント もしくは出版社による紹介など
<b>中学校</b>			
1		<b>夜空にひらく</b> いとう みく/著 978-4-7520-1072-2	アリス館 2023.8 1,760円 冤罪で罪に問われた円人が補導委託先の煙火店の深見と暮らすなかで、自分と向き合い被害者家族の複雑な感情を知る。心に残る感動作。 アルバイト先で暴力事件をおこし、試験観察処分となった鳴海円人。補導委託先は、一軒の煙火店だった。
2		<b>水平線のかなたに</b> 真珠湾とヒロシマ ロイス・ローリー/著 ケナード・パーク/画 田中 奈津子/訳 978-4-06-531994-9	講談社 2023.6 1,540円 アメリカ真珠湾、日本のヒロシマ。両サイドからフラットな視点で戦時下の人びとについて描かれた物語。 真珠湾、広島の人々の生きざまを描き、その時ががあったかを私たちに突きつける、41の物語。「映像を見ていた私は、あつ、と驚きました。たちこめる霧のむこう、水平線のかなたに見えるのはー戦艦アリゾナだったのです」ロイス・ローリーが、自身の映ったホームビデオをよく見ると、真珠湾攻撃で撃沈されることになるその艦が、映り込んでいました。自らの経験を織り交ぜながら、2度のニューベリー賞受賞経験を持つ著者が、敵味方なく戦争下で実際に生きた人に想いを寄せ、紡いだ言葉の数々。

3		<b>教室の ゴルドロックゾーン</b> こざわ たまこ/著 978-4-09-386673-6	小学館 2023.7 1,870円	<p>寂しさは、辛くないとは言えないけれど、寂しさや孤独からわかることもある。孤独を大切にすることを描いた思春期の心に寄りそう連作短編集。</p> <p>中学校のクラスに馴染めず、現実から妄想の世界に逃げがちな依子。彼女が頼れるのは父と、幼い頃から一緒に育ってきた愛犬のトト、そしてたった一人の友人・さきだけだった。しかしクラス替えからしばらくして、“新しい友達”ができたさきは依子を避けるようになる。</p>
4		<b>アップサイクル！ ぼくらの明日のために</b> 佐藤 まどか/作 木内 達朗/装画・挿絵 978-4-591-17926-0	ポプラ社 2023.10 1,760円	<p>廃材を利用してオリジナルデザインの品物を作る！グループ研究に取り組む中で、人間関係においても成長してゆく爽やかな作品。</p> <p>アップサイクル=本来は捨てられるはずの製品に新たな価値を与えて再生すること。アップサイクルは、暮らしの中ではじめられるSDGsの第一歩。</p> <p>丈、紫月、王ちゃん、夏休みのグループ研究で集まった三人の目の前にあるのは、使われていない古いミシンと黒板。これをアップサイクルしたら？アップサイクルで起業をめざす中学生三人の物語。</p>
5		<b>TRUE Colors</b> 小林 深雪、にかいどう 青、長谷川 まりる、 如月 かずさ、水野 瑠見/著 978-4-06-531729-7	講談社 2023.5 1,430円	<p>「YA！ ジェンダーフリー アンソロジー」 中学生の繊細な心を7名の作家がそれぞれのテーマで描いたアンソロジー。ジェンダーバイアスなどにとらわれず自分らしく生きることの大切さを知ることができる一冊。</p> <p>中学生一心と身体を取り巻くあれこれ。柔らかに、鮮やかに、そして激しくジェンダーを描く。「今」を生きる漫画家×6人の児童文学作家が中学生とジェンダーをテーマに物語をつづった、珠玉のアンソロジー。</p>
6		<b>HOPE 地球を守るために毎日みんなでできること</b> Penguin random house Australia/作 水野 裕紀子/訳 978-4-7598-2335-6	化学同人 2023.5 1,980円	<p>読んだらすぐに誰でも実行できて、地球にやさしくなるたくさんのアイデアが紹介されている。</p> <p>食べ物があるの手元に届くまで、平均4000キロメートルも移動していることを知っていますか？何かを捨てる時、一体“どこ”に捨てるかを考えたことはありますか？私たちが1年間に消費する30億個の飲料缶はどこにいくのでしょうか？気候変動について、自分には何もできないと思いませんか？HOPE(希望)をもちましよう。本書は、環境に配慮することを誓うことからはじまり、気候変動に対して、リデュース、リユース、リサイクルといった初心者でもはじめやすい活動を紹介しします。</p>
7		<b>世界で最後の花 絵のついた寓話</b> ジェイムズ・サーバー/作 村上 春樹/訳 978-4-591-17810-2	ポプラ社 2023.6 1,760円	<p>シンプルな線画と洗練されたことばで戦争について鋭く心に刺さる絵本。村上春樹のあとがきも良い。</p> <p>現代に生きる全人類に捧ぐ戦争を考える本。なぜ人間は戦争を繰り返すのか？戦争のない未来をつくることができるのか？第二次世界大戦開戦直前に描かれた、今を生きるわたしたちに託された平和への願い。世界で読み継がれてきたロングセラーを、村上春樹の新訳で復刊。</p>
8		<b>野良猫たちの命をつなぐ 獣医モコ先生の決意</b> 笹井 恵理子/著 978-4-323-06097-2	金の星社 2023.7 1,650円	<p>殺処分をなくすために獣医師の自分にできること。猫の不妊去勢手術から命の話。</p> <p>野良猫の不妊去勢手術を専門に行う病院を開き、これまで3万匹をこえる猫の手術を行ってきた齊藤朋子獣医師。未来の猫の命を守るためには、繁殖制限をして望まない命が生まれないようにしなければいけない。「殺処分を終わらせるのは獣医師である自分の使命だ」熱い信念のもと、殺処分ゼロへ向け、つき進む姿をえがく。</p>
9		<b>希望のひとしずく</b> キース・カラブレゼ/著 代田 亜香子/訳 978-4-652-20567-9	理論社 2023.6 1,980円	<p>3人の中学生が、願いを叶えてくれる井戸の秘密を知っている。希望をもつことのすばらしさを知る物語。</p> <p>この町で、ふしぎなことが起きている。古い井戸がいきなり、願いをかなえてくれるようになった。理由を知っているのは、三人の中学生だけ。アーネスト、ライアン、リジーは、世界をよくする方法なんか知らない。だけど、世界のかたすみで、みんなに希望をあげることはできる。一度にひとつの願いをかなえることで…。</p>
10		<b>出世できない孔子と、 悩める十人の弟子たち</b> 下村 湖人/原作 森 久人/小説 978-4-05-205757-1	Gakken 2023.8 1,210円	<p>『論語』と、下村湖人『論語物語』をベースにした、生きるための知恵と教訓の物語。学研の“青春訳名作シリーズ”。</p> <p>下村湖人の『論語物語』をベースに、「論語」を「悩める若者たち」の物語に大胆にアレンジ。知恵はあるけど、世渡りに不器用な孔子と、そんな孔子の元で学ぶ若者たちの群像青春小説。知恵と感動の物語。</p>
<b>高等学校</b>				
1		<b>それは誠</b> 乗代 雄介/著 978-4-16-391721-4	文藝春秋 2023.6 1,870円	<p>修学旅行の東京での一日自由行動日。男子4人組はそれぞれの希望の中で、「生き別れになった、おじさんに会いたい」を実行することに。一日だけの冒険を通して、青春のキラめく時間を描いた物語。</p> <p>生き別れになった、大好きなおじさんに、もう一度会いたい。高校生たちの一日限りの冒険。修学旅行で東京を訪れた高校生たちが、コースを外れた小さな冒険を試みる。その一日の、なにげない会話や出来事から、生の輝きが浮かび上がり、えも言われぬ感動がこみ上げる名編。</p>
2		<b>リスペクト</b> ブレイディ みかこ/著 978-4-480-81573-6	筑摩書房 2023.8 1,595円	<p>公営の宿泊所を追い出されたシングルマザーたち。幼い子を守るため、生きるために権力に立ち向かった行動とは…。2014年ロンドンで起きた住宅占拠事件をモデルにした物語。</p> <p>2014年にロンドンで実際に起きた占拠事件をモデルとした小説。ホームレス・シェルターに住んでいたシングルマザーたちが、地方自治体の予算削減のために退去を迫られる。人種や世代を超えて女性たちが連帯して立ち上がり、公営住宅を占拠。一方、日本の新聞社ロンドン支局記者の史奈子がふと占拠地を訪れ、元恋人でアナキストの幸太もロンドンに来て現地の人々とどンドン交流し…。「自分たちでやっつけやれ」という精神(DIY)と、相互扶助(助け合い)と、シスターフッドの物語。</p>

3		<p><b>キーウの遠い空</b> 戦争の中のウクライナ人</p> <p>オリガ・ホメンコ/著</p> <p>978-4-12-005675-8</p>	<p>中央公論新社</p> <p>2023.7</p> <p>1,980円</p>	<p>「鉄のカーテン」ソ連の中のウクライナに生まれたジャーナリストであり作家でもある著者が、戦時下のウクライナ人の気持、現状、さまざまな思いを綴る。</p> <p>2022年2月24日。ロシアの侵攻が始まったあの日から、私たちの生活は一変した。戦争の予感、避難生活の現実、引き裂かれた家族、ロシアの友人への思い……。キーウに生まれ育ち、日本で博士号を取得したウクライナ人の著者が、戦争下で見たこと、考えたことを綴る。</p>
4		<p><b>リラの花咲くけものみち</b></p> <p>藤岡 陽子/著</p> <p>978-4-334-91541-4</p>	<p>光文社</p> <p>2023.7</p> <p>1,870円</p>	<p>北海道の大学・獣医学部を舞台に命を預かる職業の厳しさと喜びを描いた作品。登場人物達が葛藤しつつ、一步步成長してゆく姿がまぶしい。</p> <p>幼い頃に母を亡くし、父が再婚した継母とうまくいかず不登校になった岸本聡里。愛犬だけが心の支えだった聡里は、祖母に引き取られペットたちと暮らすうち、獣医師を志すように。北農大獣医学部に入ると、慣れない寮生活が始まった。面倒見のよい先輩、気難しいルームメイト、志をともにする同級生らに囲まれ、学業や動物病院でのアルバイトに奮闘する日々。伴侶動物の専門医を目指していた聡里だが、馬や牛など経済動物の医師のあり方を目の当たりにし、「生きること」について考えさせられることに北海道の地で、自らの人生を変えてゆく少女の姿を描いた感動作！</p>
5		<p><b>獲る 食べる 生きる</b> 狩猟と先住民から学ぶ“いのち”の巡り</p> <p>黒田 未来雄/著</p> <p>978-4-09-389120-2</p>	<p>小学館</p> <p>2023.8</p> <p>1,870円</p>	<p>NHK「ダーウィンが来た！」などの番組を手掛けていたディレクターが猟師になるまでのノンフィクション。カナダ先住民の生き方と文化、獲物を食べる行為と野生動物への敬意など、感動と魅力にあふれた記録。</p> <p>カナダ先住民の生き方に魅せられたNHK自然番組ディレクターが「猟師」になるまでの物語。トーテムポール彫刻家であり、ハンターでもあるタギッシュ/クリンギット族の“師”と知り合った著者は、狩猟を通じて野生C59:E65動物の美しさとその犠牲の上に生きることの意味を学んでゆく。</p>